

2022年2月27日現在

日頃は、当法人、施設へのご理解ご協力ありがとうございます。

コロナウイルス・オミクロン株の感染が猛威を振るっています。当施設内の状況は2月4日より、あんきの家細畑のホームページに随時更新し、お知らせしておりますのでご確認お願い致します。

### 《あんきの家細畑コロナウイルス感染状況経過》

#### 【これまでのPCR陽性者と解除について】

- ・1南ユニットの陽性者計：職員1 利用者5名 →2/17をもって制限解除
- ・社会的PCR検査(2/14提出分)職員陽性者合計3名(事務所：施設長・宿直者、本館介護士)。それぞれ待機期間後復帰しています。施設長2/17まで 宿直者2/16まで 介護士2/21まで
- ・本館2階：利用者全員のPCR検査陰性を確認したので2/24に解除。
- ・ショートステイ：2/15 利用者1名(11~14日のご利用ですでに退所)  
2/16 利用者1名(ロング利用中)  
2/19 職員1名(喉の痛みあり)  
2/21 職員1名(咽頭痛、熱発あり)  
他に2/11~13 利用の1名 2/12~15 利用の1名がそれぞれ陽性報告あり。  
ショート合計 職員2名 利用中利用者1名 退所利用者3名 計6名  
2/24にご利用者5名(陽性者除き、2南からお預かりの利用者)のPCR検査実施し陰性。  
同日、職員の社会的PCR検査で全員の陰性を確認したので、2/27(日)に制限解除しました。
- ・2南ユニット：2/21 職員1名、2/25 職員1名陽性確認 3月4日までレッドゾーン予定。  
2/22 利用者1名→101歳とご高齢のため、2/24 県総合へ入院となりました(陽性利用者で初)。

#### 【施設長所感】

##### ○感染予防第一と本来の介護

陽性判定となった場合、職員はすぐに療養期間に入ってもらいます(無症状7日間、有症状10日間+症状に応じて)。入居者様の場合は10日間を制限期間として、ユニット全体でPPE着用、個室対応、入居者様にもマスク着用をしてもらい、職員同士はもちろん、入居者-職員、入居者-入居者の間で、ウイルスをもらわない・うつさない・濃厚接触者をつくらないが原則となります。その期間は最終接触から10日間、もしその間に新たな陽性者が出れば、そこからまた10日間の延長。

その事は、理論的には理解するし、管理者としては保健所の指導を厳守するべきです。しかしこの間、入居者にとっては、青い服の宇宙人に囲まれて顔の表情もわからない。ご利用者もマスクとなれば、職員にとって一番の喜びである笑顔も見れない。全員が個室で、ふれあいも交流もない。ディスプレイで個別に食事を運んで孤食してもらう。会話しながらのお風呂もない。これって、当法人が目指す寄り添い型の、家庭的で暖かい介護とは対極にあるような姿を、与儀なくされていると感じてしまいます。職員のみなさんには、このような状態に慣れてほしくない、本来の介護の在り方を忘れないで対応してほしいと思います。

施設長 大須賀しづか